

鉄と日本刀展



天田 昭次(あまた あきつぐ)は、現代越後の刀匠として平成9年に国の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。鎌倉期の名刀に魅せられて以来「古代の地鉄を再現し名刀をつくる」ことを目標としています。

居を構える豊浦(現新潟市月岡)の粘土と、炭、湧き出る清水を用いて、自ら炉を築き、製鋼しています。また、古代の製鉄遺跡を巡り、古代製鉄炉を再現して製鉄実験を行うなど研究も重ねています。刀作りは妥協を許さず、様々な流派の作刀を試み、かつて三度も正宗賞を受賞しています。

今回の展覧会では彼の代表的な刀の作品を展示するとともに、鉄づくりへの情熱も紹介して、人間国宝・天田昭次の仕事の全貌を明らかにしていきます。

●天田氏の略歴 昭和 2年 故 天田貞吉刀匠の長男として本田村(豊浦)に生まれる
(天田貞吉氏:昭和10年日本刀展覧会で文部大臣賞を受賞、昭和12年死去)
昭和47年 日報文化賞受賞
昭和52年 新作名刀展で「正宗賞」(山城伝)受賞
平成 9年 国の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定
平成11年 勲四等旭日小綬章受賞
※「正宗賞」3度受賞は天田氏で3人目

日本刀の源流を求めて

神秘的な姿の七支刀、聖徳太子が所持したと伝えられる七星剣など、古代刀の魅力を刀匠 天田の仕事を通じて紹介します。

古代製鉄への思い

越後には各地に拠点となる製鉄遺跡が存在します。発掘された製鉄炉の前に立つと、はるか古代越後の製鉄文化が追想されます。

鉄に挑む — 自家製鉄 —

刀匠が実際に用いている炉を展示室に再現し、粘土や砂鉄、燃料など天田の自家製鉄の全貌を明らかにします。



自家製鉄



鍛錬

鉄から日本刀へ

刀匠 天田が槌を振り下ろし、黒々とした鉄塊は美しく光り輝く日本刀へとその姿を変化させてゆきます。その様子を工程ごとにご覧いただけます。

伝承技の世界

鍛え上げられた刀は、研ぎの工程を経てこしらが施されます。伝承の技の精髓に触れていただけます。

人間国宝・天田昭次の作品

正宗賞を受賞した刀や太刀など代表作品を中心に、人間国宝 天田昭次の技の粋を心ゆくまで堪能ください。

刀匠を育んだ人々

刀匠が刀づくりにおいて特に大きな影響を受けた父 天田貞吉、師 栗原彦三郎、兄弟子 宮入行平の作品を紹介します。

■観覧料(常設展示含む)

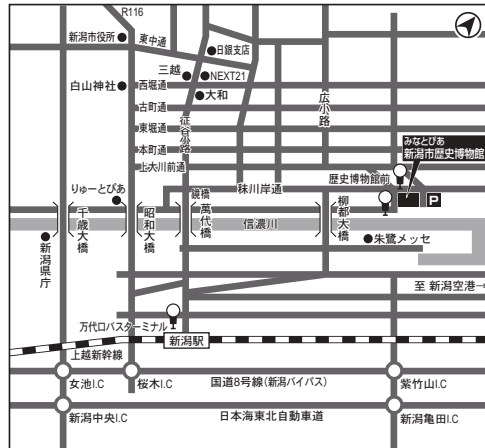
	前売	当日	団体
一般	560円	700円	560円
高校・大学生	400円	500円	400円
小・中学生	160円	200円	160円

※土・日曜・祝日は小・中学生無料 (団体は20名以上)

■開館時間/9:30~17:00 ※金曜日は20:00まで(観覧券の販売は閉館30分前まで)

■休館日/月曜日(月曜が祝日の場合、火曜日)

【会場案内】



■交通案内

- 新潟駅より
 - ・新潟市観光循環バス(犬夜叉号)で約15分「歴史博物館前」下車すぐ
 - ・新潟交通「昭和大桥・入船営業所」行バスで約25分「歴史博物館前」下車すぐ
- 車で: 新潟バイパス紫竹山ICより約15分(駐車場:60台収容可能)
- 信濃川ウォーターシャトルが敷地脇より発着



焼き入れ



〒951-8013
新潟市柳島町2-10
TEL:025-225-6111
URL:http://www.nchm.jp